

<IFFIm:活動報告レポート> ワクチン債をご購入頂いた投資家の皆様へ



途上国の子供たちへ予防接種を実施するため、 IFFImは22億米ドルを前倒しで調達

予防接種のための国際金融ファシリティ (IFFIm) は、子供の命を救う予防接種プログラムをGAVIアライアンス (以下GAVI) を通じて支援するため、2006年11月からの累計で22億米ドル以上を国際金融市場から調達しました。

「これ程のご支援を頂けたことは、『予防接種プログラムをより普及させるために、将来予定されている寄付金を前倒しで調達する』というIFFImの構想が正しかったことを証明しています。」とIFFIm理事会会長であるアラン・ギレスピー氏は述べています。「IFFImは開発のための強力な官民パートナーシップであり、市場ではIFFImが発行するワクチン債の人気の高まっています。」

2009年、新たにオランダがIFFIm寄付国となり、オーストラリアも寄付国として参加することを宣言しました。また、英国、ノルウェーが増額を表明しました。現在、英国、フランス、イタリア、スペイン、スウェーデン、ノルウェー、オランダ、南アフリカが寄付国となっており、今後20年間で合計60億米ドル以上をIFFImへ拠出すると誓約しています。IFFImは、寄付国政府が長期にわたって支払うことを約束している寄付金を、資本市場で債券を発行することにより今すぐ利用できる資金に換えているのです。

IFFImの財務マネージャーは世界銀行が務めていることに加え、IFFImの財務基盤はきわめて安定していることから、IFFImが発行する債券は個人投資家にとっても機関投資家にとっても、魅力的な社会貢献度の高い投資の機会となっています。GAVIア

ライアンス事務局長のジュリアン・ロブレビット氏は、「IFFImが調達した資金のおかげで、70以上の開発途上国において予防接種プログラムに提供する資金を倍増させることができました」と述べています。

IFFImスポンサー国の拠出金誓約額

英国	£1,380,000,000	20年間
フランス	€1,239,960,000	20年間
イタリア	€473,450,000	20年間
スペイン	€189,500,000	20年間
オランダ	€80,000,000	7年間
スウェーデン	SEK276,150,000	15年間
ノルウェー	US\$27,000,000	5年間
南アフリカ	US\$20,000,000	20年間

2009年9月、下記諸国が追加拠出を誓約しました。

英国:	£ 250,000,000
ノルウェー:	\$ 256,000,000
オーストラリア:	A\$ 250,000,000

GAVIアライアンスは、命を救う活動に取り組んでいます

今、世界中の途上国では多くの子ども達が苦しんでいます。ワクチン接種で簡単に予防できるはずの病気によって、毎年数多くの幼い命が失われているのです。病院では、病気の子供や瀕死の子供の治療・看護に多くの労力を割いています。親たちは医療費を払うために借金を余儀なくされ、後遺症に苦しむ子供は生涯にわたって介護が必要となります。これらの悲劇は、数百万人にのぼる子供とその家族を苦しめるだけでなく、国家にも影響を与えているといえます。しかしながら、これはワクチン接種によって終止符を打つことができるのです。

GAVIは2000年に設立され、2009年までに予防接種によって400万人の命を救い、死や障害をもたらす病気を予防するワクチンを2億5,600万人以上の子供に接種しました。GAVIはこの10年間で、予防接種が持つ力をはっきりと示しています。

現在、ワクチンの接種率はこれまでにないような高水準に達しています。各国は定期予防接種を実施することで、現代医療の恩恵を受けています。各国はGAVIの支援するワクチンの購入にかかる費用の一部を負担しています。この方針は協調融資と呼ばれています。その狙いはワクチンに対する各国の負担額を徐々に増やしていくこ

とにあります。これにより、各国の財政計画管理を支援し、より継続的な予防接種の実施を促進しています。負担額は各国の支払い能力により異なり、GAVIアライアンスの各パートナー（WHO、ユニセフ、世界銀行等）が各国の負担額に対する支払い状況をモニターしています。GAVIは需要に見合う長期に渡る資金提供を約束し、ワクチン供給量を確保します。その結果、ワクチンのコストダウンを実現し、市場に変化をもたらしています。IFFImのような革新的な資金調達手段によって、新しいワクチンが開発された後、途上国に普及されるまでの期間が大幅に短縮されています。

数百万もの命を助けるための体制は整い、これから新たな10年が始まろうとしています。途上国のワクチンに対する需要はかつてないほど高まっており、途上国は自ら予防接種普及活動の先頭に立っています。例えば途上国では、乳幼児死亡率が最も高い肺炎と下痢に対するワクチンの供給を望んでおり、GAVIはそのような彼らの求めにも応じることができます。

予防接種は公衆衛生の向上を目指す上で最も費用対効果の高い方法の1つです。比較的安いコストで多くの命を救えるだけでなく、人々の健康が守られることにより、社会や経済の成長が促進されます。予防接種がもたらす未来への可能性は大きく広がっているのです。

IFFImが寄付国や投資家の皆様から継続的な支援を受けることで、GAVIは途上国が必要としているワクチンを提供することができます。皆様とともに、より多くの子供の命を救うためにこれからも取り組んでいきます。



感謝

南エチオピアのティンビチョ保健所にいるメセレット・テスホムさんと娘のブルックタイエトちゃん。ブルックタイエトちゃんはジフテリア、百日咳、破傷風、B型肝炎、Hib (B型インフルエンザ) に対する五価ワクチンを受けたばかりです。

「私は5人の子ども全員にワクチンを受けさせました。予防接種で多くの病気を予防できるからです。」さらにメセレットさんは次のように語りました。「子どもが健康であることはとても大切なことです。医療費や通院にお金をかける必要がありませんからね。」

五価ワクチンは、予防接種のための国際金融ファシリティ (IFFIm) が世界の資本市場で債券を販売することで調達した資金を用い、GAVIアライアンスが提供しています。

IFFImは2006年以後、GAVIの予防接種プログラムのために22億米ドル以上を調達してきました。

ローマ教皇ベネディクト16世も初回のIFFImワクチン債を購入しています。



日本で人気を集めるワクチン債

トリプルA (AAA) の格付を有するIFFImのワクチン債が、日本の個人投資家の皆様の間で高い人気を集めています。

大和証券グループによる過去2回のワクチン債販売で、IFFImは2008年3月に2億2,300万米ドル(約213億円*)を、2009年2月に4億2,900万米ドル(約408億円*)を調達しました。

厳しい市場環境にも関わらずこれだけの成果が得られたことは、IFFImとその人道的目的に対する支持が日本国内で高まっていることを示しています。

IFFImは2008年に大和証券グループの協力のもと、日本で初めてとなるワクチン債を南アフリカ・ランド建てで発行しました。大和証券へ10,000件以上の注文があり、債券は6日間の販売期間中に完売しました。

2009年には、大和証券グループのお客様200名以上を招待し、二回目となるワクチン債セミナーを実施しました。セミナーではIFFIm理事会会長のアラン・ギレスピー氏に加え、世界銀行の財務担当副総裁であるケン・レイ氏、GAVIアライアンスの最高財務責任者であるアリス・オルブライト氏、大和証券グループの鈴木茂晴社長がそれぞれスピーチを行い、ワクチン債を紹介しました。

2時間にわたるセミナーではGAVIアライアンスが制作したビデオも上映され、IFFImの資金が途上国の子供達への予防接種にどう活用されているかが説明されました。

鈴木社長はセミナー冒頭で、「IFFImの債券を取り扱うことで、大和証券の社員も世界に貢献しているという感覚を得られている」と述べました。

また、ケン・レイ氏は「世界銀行は35年以上にわたって、日本の資本市場で債券を発行してきました。今回IFFImとともに、日本の投資家の皆様に何百万人もの子供達の命を救える機会をご提供できることを嬉しく思っています」と話しました。

投資家の皆様からの要望もあり、大和証券は南アフリカ・ランド、ニュージーランド・ドル、豪ドルの三通貨で日本での第2回ワクチン債を販売しました。とくに南アフリカ・ランド建て債券の売総額は31億南アフリカランド(3億1000万米ドル相当、約295億円*)に上り、日本における南アフリカ・ランド建て債券としては、当時過去最大規模のものとなりました。購入者の80%以上は50歳以上、また、女性の投資家が60%以上を占めました。

セミナーに参加後、4人のお子様を持つある母親がこのように話して下さいました。「子供のための支援に投資できる点が気に入りました。他の証券会社が販売している債券では、自分の資金が何に使われるのかを正確に知ることはできませんが、IFFImが発行する債券なら用途がはっきりしています。」

アラン・ギレスピー氏は次のように語っています。「日本は国際機関にとって重要な資金調達市場です。IFFImは日本での起債を通して、今や国際機関の資金調達市場で確固たる地位を確立しました。この成功は大和証券グループや世界銀行等からの協力がなければ成しえなかったことで、大変感謝しています。また、途上国の子供たちに予防接種を実施する活動に貴重な資金をご提供いただいた大和証券の投資家の皆さまにも深く感謝しております。」

*国内受渡し日のTTMを用いて換算しています。



大和証券の投資家に向けてIFFImの説明をするアラン・ギレスピー氏
写真協力:大和証券より転載許可

途上国におけるIFFIm資金の活用状況

GAVIは、開発途上国において、十分に普及されていないワクチンの接種率を向上するために、初期投資を促進する役割を果たしています。

大規模な普及活動の結果、基礎的なワクチンであるDTP3（ジフテリア・百日咳・破傷風の3種混合ワクチン）の接種率は80%近くまで上昇しました。途上国自身の努力がなければ、これほど目覚ましい成果を上げることはできなかったでしょう。IFFImが調達した資金をもとに、GAVIは五価ワクチンの供給も開始しました。このワクチンはジフテリア、百日咳、破傷風に加え、B型肝炎とインフルエンザ菌b型（Hib）という致死率の高い疾病から子供達を守る

上で大きな役割を果たしています。B型肝炎は子供より成人での感染例が多いものの、Hibは生後数カ月の乳児の大きな死因である髄膜炎と肺炎を引き起こします。Hibが原因で死亡する子どもは年間37万人に上ると見られており、一命を取り留めてもほとんどの場合麻痺、難聴、知的障害、学習障害といった深刻な後遺症が残ります。

2008年末までに、56のGAVIによる支援対象国において4200万人の子ども達が五価ワクチンの接種を受けました。世界保健機関（WHO）によれば、年間で1400万人の子供達が新たにワクチンの接種を受けたことになります。



ブリアナちゃんに五価ワクチンを打つ看護師のシンシア・ヌオーさん（ガーナのアクラにて）。母親のプリシラ・カーシーさんは次のように述べています。

「普段は仕出しの仕事をしています、今日は仕事を休んで診療所に来ました。休んだことは気にしていません。我が子の健康のためですから。子供の健康は何物にも代え難いものです。是非子供を診療所に連れて来て下さい。」

五価ワクチンを普及させるため重点的に1億9600万米ドルが割り当てられており、その90%はIFFImからの資金でまかなわれています。GAVIの支援を得ていち早く五価ワクチンを導入したウガンダでは、わずか5年間でHibがほぼ根絶されました。それ以前は毎年、Hibによって3万人が重症に陥り、5000人の子供達が命を落としていました。五価ワクチンは、Hib関連の死亡を90%防ぐと期待されています。このワクチンは子供達の健康状態を飛躍的に改善するだけでなく、“2015年までに子どもの死亡率を3分の1に削減する”というミレニアム開発目標の達成にも寄与するものとなるでしょう。

妊産婦および新生児破傷風(MNT)

妊産婦と新生児の破傷風(MNT)によって、途上国で最も貧しい人々の命が奪われています。破傷風の患者は途上国の新生児や母親が圧倒的に多く、多くの場合は死に至ります。これは不衛生な分娩や産後の衛生処理が不適切であることが原因です。しかし、世界で発生しているMNTはワクチン接種によって撲滅が可能なのです。破傷風トキソイドワクチンを2度接種することで母親と小児の両方が破傷風から守られます。しかしながらワクチンが入手できなければ意味がありません。つまり、破傷風の予防ワクチンを最も必要としているのは、インフラが整備されておらず届けられるのも困難な地域に住んでいる

女性なのです。こうした地域では定期的に予防接種活動を実施することが必要です。GAVIによるMNTプログラムでは、これら地域に住む女性の約80%に、少なくとも2度のワクチン接種を行ってきました。

2008年には、IFFImが提供する資金により、バングラデシュで母子破傷風に関する調査が行われ、破傷風が撲滅したことが判明しました。バングラデシュでは、過去には1,000人中40人(およそ4%)であった子供の感染者数が現在では1,000人中1人未満になっています。また、20-30年前には新生児の死亡原因の50%が破傷風だったのが、現在では1%以下に減少しています。

黄熱病

黄熱病は致命的で感染力の強いウイルス疾患で、破滅的な流行をもたらしますが、ワクチンにより予防可能です。最も黄熱病リスクの高い西アフリカ12カ国では、IFFIm資金による定期予防接種の実施に加え、突発の大流行に対して備蓄ワクチンを常備しています。さらに、IFFIm資金を使った黄熱病予防対策によって、黄熱病予防事業と黄熱病ワクチン生産に対する関心が高まるという効果が途上国においてもたらされています。

2008年後半、北ブルキナファソで黄熱病が発生しました。ブルキナファソでは予防接種が順調に行われていたにもかかわらず、ワクチンを接種していなかった2人の少年が10月に黄熱病に感染したのです。この1件の症例確認を期に、感染力が高い黄熱病ウイルスを食い止めそれ以上の感染を防ごうという動きが広がり、集団予防接種対策が各地で急速に展開されました。

これまでは感染拡大阻止の対応が遅く、その原因は、ワクチン不足(今でも黄熱病ワクチンは供給が比較的不足しています)であったり、流行地域で速やかにワクチンが調達できなかったことでした。

しかし現在は、IFFImからの資金提供によりワクチンの備蓄が可能となり、症例確認後すぐにワクチン入手し集団接種を実施できるようになっています。



PHOTO OLIVIER ASELIN

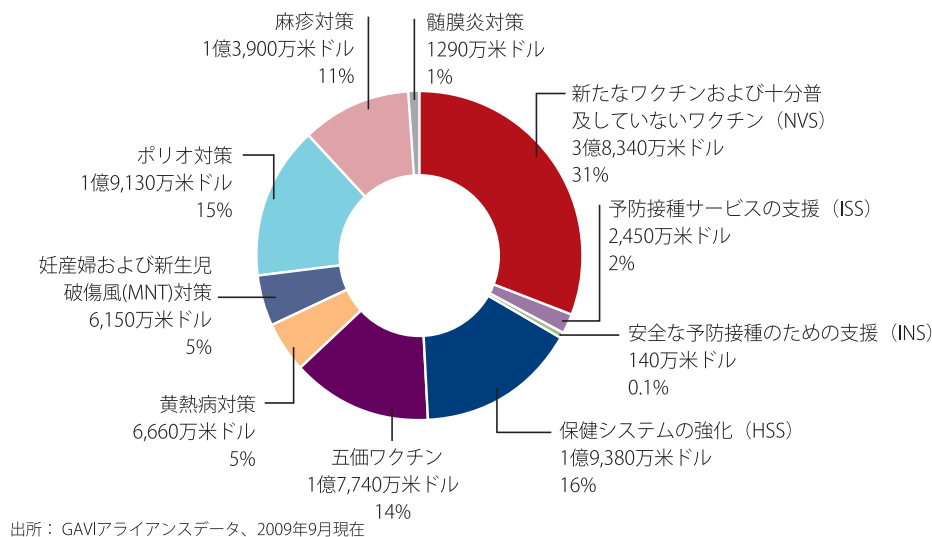
IFFImは資金調達目標を順調に達成

IFFImが資本市場で債券を発行することで、将来に渡って寄付国から寄付される資金を前倒して調達し、大規模な予防接種を早期に展開することが可能となります。IFFImが調達した資金は、官民パートナーシップであるGAVIを通して、途上国において予防接種の普及活動に使われ、ワクチンによって簡単に予防できる病気や死亡を減少させることに寄与しています。

2006年の設立から2009年9月30日までの間、IFFImは20億ドル相当の予防接種プログラムを承認しました。その内の12億ドルが、すでに70カ国の途上国でワクチンの購入や現地への支給のために使われました。

IFFImからの資金により、2006年以後GAVIの支出金は倍増しました。これら支出金は五価ワクチンなどの新しいワクチンやまだ途上国で十分利用されていないワクチンの普及、予防接種サービスの支援、安全な予防接種のための支援、保健システムの強化など、GAVIの中核となる各プログラムに充てられています。また、黄熱病ワクチンやポリオワクチンの備蓄、麻疹による死亡率の抑制、妊産婦および新生児破傷風の撲滅、髄膜炎の根絶などを支援するためにも使われています。

GAVIプログラムに対するIFFIm資金の支出内訳 (2006年～2009年9月30日)



GAVIアライアンスは、保健サービスの改善や予防接種の接種率と質を高めることで、途上国の子供達の健康増進を目的とした革新的な官民パートナーシップです。GAVIアライアンスには、ユニセフ、世界保健機関、世界銀行、市民社会団体、公衆衛生機関、寄付国および途上国政府、ビル&メリンダ・ゲイツ財団、その他の慈善家、ワクチン業界代表、IFFIm、財界などが参加しており、各パートナーがそれぞれの専門性を発揮しながら協働することで、この分野で前例のない進歩に貢献しています。



世界銀行はIFFImの財務アドバイザーとして、堅実な方針と基準に従ってIFFImの財務を管理しています。これにはIFFImの資金調達戦略立案と資本市場における債券発行の実施、格付け機関や投資家への対応、ヘッジ取引、投資管理などが含まれます。また世界銀行はIFFIm寄付国と調整を行い、各国の資金誓約と支払いを管理するとともに、GAVIアライアンスを通じた予防接種および保健プログラムへの支出を管理しています。

最新の情報は
www.iff-immunisation.org
 をご覧ください。

詳細のお問い合わせ先:

Dan Thomas
 dthomas@gavialliance.org
 Tel. +41 22 909 6524
 Tel. +41 79 251 8581

Rachel Winter Jones
 rjones1@worldbank.org
 Tel. +33 1 4069 3052

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 非上場債券（国債、地方債、政府保証債、社債）を当社が相手方となりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。こうした銘柄については、外国証券内容説明書をご覧ください。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、社団法人 金融先物取引業協会